

市長定例会見

令和4年9月1日（木曜日）13時30分～

- 1 令和4年9月市議会定例会の補正予算について
- 2 三原さぎ島チャリティーマラソンby走健塾の開催について



令和4年9月定例会 補正予算

一般会計と1つの特別会計 及び 1つの企業会計で
9億 6,054万 3千円を増額

1 一般会計

+ 7億 7,811万円

※詳細は、次ページに掲載

2 特別会計

①介護保険特別会計

① + 1億 5,834万 3千円

※国県支出金等の精算返還金

3 企業会計

①水道事業会計

① + 2,409万円

※電気・ガス使用料の増など

一般会計 7億7,811万円の内訳（主なもの）

1. 新型コロナウイルス感染症対応に関するもの

〔+ 5億6,125万円〕

(1) 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金対応事業

★ ①福祉施設等運営支援事業

補正額 1,740万円

★ ②農林水産事業者支援事業

補正額 1,835万円

★ ③インフルエンザ予防接種費補助

補正額 8,550万円

★ (2)新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業

補正額 4億4,000万円

2. 国・県支出金の増に伴うもの

〔+ 200万円〕

(1) 自主防災活動推進事業費（国委託事業）

補正額 200万円

3. 事業費の増に伴うもの ほか

〔+ 2億1,486万円〕

(1) 原料価格高騰に伴う電気・ガス使用料の増額

補正額 9,890万2千円

★ (2) 定期予防接種事業（子宮頸がんワクチン）

補正額 5,074万円

★ (3) 消防団活動事業費

補正額 2,046万4千円

(4) 障害者スポーツ振興事業（公益社団法人日本パラスポーツ協会委託事業）

補正額 320万円

(5) 子育て世帯臨時特別給付金事業費の精算返還金

補正額 1,648万6千円

一般会計 7億 7,811万円の財源内訳

主に国庫支出金等の追加

特定財源

〔+ 5億 7,498万2千円〕

国庫支出金	+ 5億 6,325万円
分担金	+ 798万 3千円
その他	+ 374万 9千円

一般財源

〔+ 2億 312万8千円〕

令和3年度決算剰余金 + 2億 312万8千円
(繰越金の見込み)

令和4年9月定例会 補正予算 補正額：1,740万円 福祉施設等運営支援事業

原油価格・物価高騰の影響で経営負担を強いられている障害・介護・保育等の福祉施設等の事業継続を支援します。

事業名 /補正額	(上段) 対象事業者等 (下段) 対象施設等の箇所数 / 1か所当たり補助額
社会福祉事業者支援給付金事業 1,625万円	障害者福祉サービス事業者 入所施設：4か所 / 15万円 通所等事業所：58か所 / 5万円 介護保険事業者 入所施設：29か所 / 15万円 通所等事業所：168か所 / 5万円
児童福祉事業者支援給付金事業 115万円	保育施設の運営法人 私立保育所：3か所 / 5万円 私立認定こども園：9か所 / 5万円 私立地域型保育事業施設：6か所 / 5万円 母子生活支援施設：1か所 / 15万円 民間放課後児童クラブ：2か所 / 5万円

令和4年9月定例会 補正予算 補正額：1,835万円 農林水産事業者支援事業

資材価格の高騰により影響を受けている農林水産業者に対し、事業継続を支援するため、補助金を支給します。

区分/補正額	対象者	補助金額（1件あたり補助上限額）	対象資材
農業者支援 840万円	水稻栽培は30a以上、園芸(野菜)又は果樹栽培は10a以上の農地を耕作している農業者又は農業者が組織する団体	化学肥料に含まれる窒素成分の代替として、有機堆肥を購入し、散布した場合に1tあたり2,000円を補助 (1件あたり補助上限額：1,000千円) <参考：10aあたりの標準的な散布量> 水稻：1t/10a，園芸：2.5t/10a，果樹：2.0t/10a	令和4年6月～令和5年3月に散布した、肥料取締法第23条の届出している生産業者又は販売業者から購入した有機堆肥
畜産業者支援 930万4千円	市内で畜産業を営み、配合飼料を購入している者	令和3年度の飼料費から令和4年度の飼料費の高騰分に対し配合飼料購入費の1tあたり1,600円を上限として補助 (1件あたり補助上限額：1,000千円) <参考：市内の畜産業者数> 牛：15業者，豚：2業者，鶏：7業者	令和4年度に購入した配合飼料
漁業者支援 64万6千円	三原市漁業協同組合	漁船用燃油販売の令和3年度平均単価から令和4年度平均単価の高騰分に対し、1ℓあたり8円を上限に1/2補助 (1件あたり上限額：646千円)	漁業者が購入した令和4年度燃油購入量

令和4年9月 補正予算 補正額：8,550万円
インフルエンザ予防接種補助事業

インフルエンザ予防接種費用を補助します。

目的	新型コロナウイルス感染症とインフルエンザの同時流行に備え、インフルエンザ予防接種費用の補助対象者の拡充及び、接種費用負担を無料とすることで、外来診療及び重症化に対応する医療の逼迫を防ぎ、医療体制を維持確保する。
対象者	下記のいずれかに当てはまる三原市民 (1) 定期予防接種対象者 ア 65歳以上の者：約32,000人 イ 60～64歳の者で心臓・腎臓・呼吸器・免疫機能に障害を有する者：約100人 (2) 任意予防接種対象者 ウ 生後6か月から中学3年生（15歳以下）：約10,000人 エ 高校1年生（16歳）から59歳の心臓・腎臓・呼吸器等に障害を有する者：約200人
実施期間	令和4年10月1日～令和5年1月31日まで
自己負担額	無料
実施場所	(1) 定期予防接種：県内医療機関 (2) 任意予防接種：市内医療機関（市外医療機関で接種した場合は償還払い）

【参考】インフルエンザ予防対策の拡充内容

本市では、現行対策（補正前）として、インフルエンザ予防対策として、定期予防接種及び任意予防接種の対象者に対し、接種費用補助を実施。今回の補正予算で、赤枠のとおり拡充。

予防接種の区分	接種時点の年齢	補正前		補正後		接種場所
		生活保護世帯	課税世帯	生活保護世帯	課税世帯	
		非課税世帯		非課税世帯		
定期接種	65歳以上	無料	1,500円 自己負担	無料		県内 医療機関
	60～64歳のうち ※障害がある者		3,000円 市負担			
任意接種	16～59歳	全額自己負担		※障害がある者は無料 それ以外は、全額自己負担		市内 医療機関
	0～15歳 (中学3年生まで)	無料	全額自己負担	無料		

※心臓，腎臓，呼吸器等に障害がある者（身体障害者手帳1級相当）

【参考】新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の活用状況について

本市では、「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」を活用し、ウイルスの感染拡大防止や感染拡大の影響を受けている地域経済・市民生活への支援、原油価格や物価高騰等に直面する方々への対策などを行ってきております。

<交付金の活用状況（令和4年度）>

(単位：千円)

区分		交付予定額	交付金活用 事業費	備考
通常分	R4当初	352,706	613,374	事業費は、令和4年度当初予算及び令和4年6月補正予算計上分
	追加①	59,765		
	追加②	96,635	<u>121,250</u>	<u>今回補正額</u>
	追加③	16,285		
	小計	525,391	734,624	
原油価格・物価高騰対応分		289,905	383,000	事業費は、令和4年6月補正予算計上分
合計		815,296	1,117,624	

新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業

オミクロン株に対応した新型コロナワクチンに係る接種体制を確保します。

対象者	2回目接種が完了した市民（5歳以上の場合、約72,000人）
ワクチンの種類	オミクロン株（BA.1）と従来株に対応した2価ワクチン（ファイザー社製及びモデルナ社製）
接種開始時期	今年（令和4年度）10月半ば以降を予定 ※国の方針によっては、前倒しになることがあります。
接種方法	個別接種及び集団接種
予約方法	個別接種：医療機関が指定する方法（窓口、電話、インターネット等） 集団接種：市コールセンター、インターネットなど

令和4年9月定例会 補正予算 補正額：5,074万円 定期予防接種事業（子宮頸がんワクチン）

子宮頸がんワクチンのキャッチアップ接種と償還払いを行います。

	キャッチアップ接種	償還払い
対象者	次のいずれも満たす者 (1) H9.4.2(25歳) からH18.4.1(17歳) までの間に生まれた女子 (2) 全3回の接種を受けていない者 約3,000人（償還払い対象者含む） (3) 接種日時点に住居登録のある者	次のいずれも満たす者 (1) H9.4.2(25歳) からH17.4.1(18歳) までの間に生まれた女子 (2) 令和4年4月1日に住民登録のある者 (3) 定期接種の期間を過ぎ、自費で接種した者
期間	R4.4.1～R7.3.31(3年間)	準備が整い次第開始～R7.3.31
金額	【ワクチン単価・手数料】 1回あたり 16,597円 【1人当たりの費用】 16,597円×3回=49,791円 (1人3回接種が必要なため)	接種費用の自己負担額のうち、接種日における市のワクチン委託料単価を限度とする。 ※令和4年度の委託料単価 16,500円/回

※ 接種機会の確保の観点から、キャッチアップ接種の期間中に定期接種の対象から、新たに外れる世代（平成18年4月2日から平成19年4月1日までの間に生まれた女子及び平成19年4月2日から平成20年4月1日までの間に生まれた女子）についても、順次キャッチアップ対象者とする。

■ 定期接種期間：12歳（小6）～16歳（高1）

消防団活動事業

消防団員の処遇の改善を図るため年額報酬の見直しを図ります。

施行日：令和4年4月1日（遡及適用）

(年額)			
階級	現行	改正	増額分
団長	80,000円	82,500円	2,500円
副団長	60,000円	69,000円	9,000円
分団長	40,000円	50,500円	10,500円
副分団長	33,000円	45,500円	12,500円
部長	24,000円	37,000円	13,000円
班長	18,000円	37,000円	19,000円
団員	16,000円	36,500円	20,500円

三原さぎ島チャリティーマラソンby走健塾

～広島県初の公認フルマラソン大会実施に向けて～



代表取締役 板倉具視

三原さぎ島チャリティーマラソン大会 ～広島県初の公認フルマラソン大会実施に向けて～

目次:

- 1 提案の目的
- 2 具体的な戦略
- 3 実施内容について
- 4 大会要項
- 5 エキスポスケジュール

1 提案の目的

さぎ島を全国にPRしスポーツの島「さぎ島」を目指して

2 具体的な戦略

1

2023年2月5日(日)にさぎ島にてマラソン大会を実施。参加者数は約1500人を予定

2

大会前日にマラソンエキスポを開催し3000人近い方が来場予定

3

豪華ゲストをお呼びし、全国から参加者を募る

3.実施内容について

- ・2023年2月5日(日)に三原市さぎ島にてマラソン大会を実施。

※参加者数は最大1,500人。☆付き添い者を合わせると2,000人超の方が来場予定。

- ・2023年2月4日(土)に三原リージョンプラザ 野外広場にてマラソンエキスポを実施し、来場者3,000人を予定。

※エキスポにて出店企業を募り、三原市のPRをして頂きたいと思っています。

※ゲストとして、鳥谷敬さん(元阪神タイガース、元千葉ロッテマリーンズ)、今村猛さん(元広島東洋カープ)、たむじょーさん(陸上YouTuber ※登録者9万人)、ひとりのできるもん(ダンサー)、ばい菌持ってる鳩(ダンサー)をお呼びし、エキスポ、大会当日を盛り上げて頂きます。

☆2024年又は2025年に、さぎ島にて広島県初の公認マラソン大会実施に向けてデモ大会として実施。

※公認大会実施となれば、青山学院大学の原監督と青山学院の選手をゲストとしてお呼びし、更に全国に三原市とさぎ島のPRをする事が出来ます。

4.大会要項

- ・開催日 2023年2月5日(日)

開催地

広島県三原市さぎ島(1周10.5km) 周回

種目

- ・ 42.195km(フルマラソン)(チップ計測あり)
- ・ 21.0975km(ハーフマラソン) (チップ計測あり)
- ・ 10km (チップ計測あり)
- ・ 中学生3km (チップ計測あり)
- ・ 小学生2km(4～6年生) (チップ計測あり)
- ・ 小学生1km(1～3年生) (チップ計測あり)

【コース】

1周約10.5kmmを回るコース

☆小学生～中学生は直線の1km～1.5km折り返しコースにて実施。

4.大会要項 その2

・【大会当日スケジュール】

7時～フェリーにて移動。

- ・ 9時20分 小学生低学年の部(1～3年生) スタート
- ・ 9時30分 小学生高学年の部(4～6年生) スタート
- ・ 9時45分 中学生 3kmの部 スタート
- ・ 10時00分 フルマラソン,ハーフマラソン、10kmの部 スタート

4.大会要項 その3

参加費(税込)

- 1.フル馬拉ソンの部 11,000円(税込) 募集人数1000人 (先着)
- 2.フル馬拉ソンエンドルフィンプロの部 26,400円(税込) 募集人数140人 (先着)
- 3.ハーフ馬拉ソンの部 8,800円(税込) 募集人数300人 (先着)
- 4.ペーサーの部 10円(税込) 募集人数 20人(先着)
- 5.10kmの部 7,700円(税込) 募集人数300人 (先着)
- 6.中学生3kmの部4,500円(税込) 募集人数300人 (先着)
- 7.小学生2kmの部4,500円(税込) 募集人数300人 (先着)
- 8.小学生1kmの部 4,500円(税込) 募集人数300人 (先着)

※募集人数は最大2,640人ですが(ペーサーは除く)、約6割の申込者数になると予測しています。

【参加資格】

- 1.フル馬拉ソンを6時間30分以内で完走できる方
- 2.ハーフ馬拉ソンを3時間30分以内で完走できる方
- 3.10kmを2時間以内で完走できる方

【入賞について】

各種目総合3位迄 ☆男女別 ※副賞

☆小学生は男女別、学年別に表彰致します。

4.大会要項 その4

【大会中止について】

大会の中止になる場合について

以下の場合に大会中止をさせていただく場合がございます。

荒天のため、開催が不可能だと判断された時

本大会のコースはフェリー移動のみとなりますので大会当日、悪天候によりフェリーが運行出来ない場合は中止とさせていただきます。

中止の場合は大会当日の午前6時30分に走健塾HP <https://55run.jp/>にてお知らせ致します。

荒天により大会が中止になった場合、参加規約に記載の通り返金は致しません。

【参加規約】 荒天・天災により大会が中止になった場合、参加費の返金は致しません。

4.大会要項 その5

【参加賞】

- ①フィニッシャータオル(フルマラソン,ハーフマラソンの部となります。)
- ②マフラータオル(10km,中学生、小学生の部となります。)
- ③清水屋生クリームスイーツパン
- ④エネルギーゼリー2個(フルマラソン,ハーフマラソン,10kmの部となります。)
- ⑤スーパースポーツゼビオ10%割引券
- ⑥さぎ島特産品(フルマラソン,ハーフマラソン,10kmの部となります。)
- ⑦お弁当とお茶(フィニッシュ後にお渡し)
- ⑧前日エキスポで使用出来る4000円割引券
- ⑨フェリー往復券(大会当日のみ使用可能)
- ⑩完走証
- ⑪サッカーエンドルフィンプロ3 ※フルマラソンエンドルフィンプロの部にエントリーした方のみ
- ⑫スポーツドリンク
- ⑬お好きなゲストの方の直筆サインをプレゼント ※ペーサーの部にエントリーされた方のみ
- ⑭割引一覧冊子(走健塾 HPにてダウンロードとなります。)

※10km,小中学生の部は①フィニッシャータオルでなく、②マフラータオルになります。

※ペーサーの部にエントリーされた方は⑨完走証はありません。

※小中学生には④エネルギーゼリーと⑥特産品はありません。

4.大会要項 その6

【受付方法】

「ローソンスポーツ」からのエントリー

<https://do.l-tike.com/app/dss/race/detail?acd=aE52FOrHiJr>

※受付期間

2022年9月1日～2022年12月25日

大会お問合せ先

[Mail : info@55run.jp](mailto:info@55run.jp) 電話 : 090-1189-0016 板倉宛



申込HP

5.エキスポスケジュール

- ・午前11時受付&エキスポスタート

※様々な企業様の出店ブースを募集いたします。

- ・11時50分～ ひとりでできるもんダンスタイム・12時00分～ ばい菌持ってる鳩 ダンスタイム
- ・13時10分～ ひとりでできるもんダンスタイム・13時20分～ ばい菌持ってる鳩 ダンスタイム
- ・13時30分～ 鳥谷敬さん、たむじょーさんトークショー (現在調整中)
- ・14時～16時 キャッチボール会&サイン会(現在調整中)

※エキスポ来場者数予測 3,000人

☆参加者&付き添い者2,000人 一般来場者1,000人を予定。

※エキスポの入場料を無料にする事で、ダンス披露やトークショーやサイン会などを実施により、参加者以外の一般の方の来場者も見込める。

☆一般の来場者の動員の為に、SNSでの告知、広島全域の野球チームに告知、三原市に後援を頂き、三原市内の学校にお知らせさせて頂き動員に繋がります。

令和4年9月1日

～プロ野球レジェンドの鳥谷さんと今村さんも同席！～ 「三原さぎ島チャリティーマラソン by 走健塾」の大会主催者が 市長を表敬訪問します

9月27日（火）に「三原さぎ島チャリティーマラソン by 走健塾」の大会主催者である(有)走健塾板倉社長と、大会ゲストである阪神・ロッテOBの鳥谷氏、カープOBの今村氏が、市長を表敬訪問されます。

長年プロ野球で活躍された鳥谷氏と今村氏は、その運動経験を活かし、板倉社長が主催されるマラソン教室において、トレーニング方法や走り方等を指導されています。

市長表敬訪問では、令和5年2月5日（日）に佐木島で開催される本大会の魅力をPRされます。

市長表敬訪問

- 1 日時：9月27日（火）11：00～11：30
- 2 場所：三原市役所4階 市長応接室
- 3 来訪者：
(1) 有限会社走健塾 代表取締役 板倉 具視（いたくら ともみ）※大会主催者
(2) 鳥谷 敬（とりたに たかし）※プロ野球 阪神タイガース・千葉ロッテマリーンズOB
(3) 今村 猛（いまむら たける）※プロ野球 広島東洋カープOB

「三原さぎ島チャリティーマラソン by 走健塾」概要

- 1 開催日：令和5年2月5日（日）
- 2 場所：佐木島
- 3 種目：フルマラソン・ハーフマラソンなどの6種目
- 4 参加者数（見込み）：1,500人
- 5 募集期間：9月1日～12月25日



【鳥谷氏（左）と板倉社長】



【今村氏（左）と板倉社長】

【問い合わせ先】スポーツ振興課 課長 平田 潔（ひらた きよし）

スポーツ振興係 係長 石原 真次（いしはら しんじ）

〒723-8601 三原市港町三丁目5番1号 電話 0848・64・7219(直通) FAX0848・67・5912